

- 山形県の基幹的農業従事者の36.9%は女性であるが、高齢化が進行しており、40歳未満の女性農業者はわずか1%のみ。**地域農業活性化のため若い女性農業者の育成**が必要。
- 若い女性農業者は孤立しがちで、**生産現場で女性が一層活躍できる環境づくりを支援し、女性の農業分野における活躍の促進**が必要。
- **女性限定の経営講座の開設。農業の魅力を伝える事例集の作成、広報。**
- **女性農業者(10名)がビジネスプランを作成。経営力・営農意欲が向上。地域における仲間づくりが進展。**

## 具体的な成果

### 1 女性農業者のビジネスプランの作成による経営力・営農意欲の向上

- 女性農業者のビジネスプランの作成を支援し、10名がビジネスプランの作成とプランの実現に向けた実践支援を通し、将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力・営農意欲が向上。



### 2 女性農業者が活躍できる環境整備

- 地域ごとの交流会を開催し、地域内で気軽に悩みを相談し合える仲間の認知と交流が促進。家族経営協定等についての理解促進。



- 県域の女性農業者グループ「やまがた農業女子ネットワーク」が独自の研修会等を企画運営する等、活動が活発化。

## 普及指導員の活動

令和3年

### ■ 女性限定の講座の開設。ビジネスプランの作成を支援

- ・講義とともにグループワークや個別演習、「ビジョンコラージュ」の制作等女性が取り組みやすい講座の工夫
- ・先進的な女性農業者の視察研修
- ・先進的な経営者のもとで、インターンシップの実施
- ・女性限定の農業機械管理、操作研修

### ■ ビジネスプラン実現に向け、総合的な個別支援の展開

- ・受講生毎に技術担当と経営担当の普及指導員を配置。

### ■ 女性農業者の働き方改革支援

- ・県内4地域毎に農業女子会を開催。1地域10名程度の小人数で気軽に悩みを相談し合える仲間づくりの場の提供し、家族経営協定等の研修を実施。

## 普及指導員だからできたこと

- ・定期講座を補完する形で、受講生の相談、技術相談も含めた現地指導、ビジネスプランの作成支援等きめ細やかなフォローアップを実施。

## 次代を担う女性農業者の育成

活動期間：令和3～6年度

### 1. 取組の背景

山形県の基幹的農業従事者のうち36.9%は女性であるが、高齢化が進行しており、40歳未満の女性農業者はわずか1%程度であり、地域で若い女性農業者は孤立しがちである。

一方、農業発展のためには、消費者志向を踏まえた生産・販売、加工品開発等、女性ならではの柔軟な発想による農業経営の展開が必要である。そのため、女性農業者の活躍が不可欠であり、経営管理能力の向上を支援するとともに、関係機関と連携し、女性農業者が活躍しやすい環境の整備と女性農業者の増加に向けた取組み及び育成が必要である。

### 2. 活動内容（詳細）

#### （1）女性限定の講座を開設

##### ①アグリウーマン塾の開催

県全域から意欲的に経営に参画している若手女性農業者を募集し、年6回、農業経営の基礎とビジネスプランを作成する講座を開催した。講師は、中小企業診断士に依頼した。

・修了生の取組み事例を紹介し、それを題材にしたグループ討議や個別演習、「ビジョンコラージュ」の作成等女性が取組み易いよう講座内容を工夫した。

・新たな生活様式を踏まえ、オンライン研修も実施し、夫婦・家族等での受講も見られた。

・定期講座のほか、オプション研修として先進的な女性経営者の基でのインターンシップを実施した。



②女性限定の農業機械管理、操作研修を開催した。

③普及課では、受講者毎に技術担当と経営担当の普及指導員を支援担当者として配置し、支援体制を整備した。

ビジネスプランの作成を支援するとともに、その実現へ向け、総合的な個別支援を展開した。

また、塾修了生のさらなる経営力向上とビジネスプランの実現を支援し、各自の農業経営と地域での活躍を後押しするため、フォローアップ研修を実施した。

## (2) 地域で活躍する若手農業者を広く紹介

将来の職業について考える「キャリア教育」を始める中学生向けに「農業」の魅力を伝える啓発パンフレットを作成。山形県農業情報サイト「やまがたアグリネット」に掲載した。

## (3) 女性農業者の働き方改革支援

女性が活躍しやすい環境を整えるため、公益財団法人やまがた農業支援センター内に女性のネットワークづくりを支援する窓口を設置。

電話相談のほか、県内各地域において研修会、交流会の開催を通じ女性農業者を支援した。



## 3. 具体的な成果（詳細）

### (1) 女性農業者のビジネスプランの作成による経営力・営農意欲の向上

10名がビジネスプランを作成し、プランの実現に向けた実践支援を通じ、将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力・営農意欲が向上した。若い女性農業者同士の交流が図られ、仲間づくりが進展した。

### (2) 女性農業者が活躍できる環境整備

地域内で気軽に悩みを相談し合える仲間の認知と交流促進を図るため県内4地域で研修会・地域学習会の開催を通じた農業女子会を開催。1地域10名程度の小人数で開催したことにより、気軽に悩みを相談し合える仲間がいる安心感、相互研鑽、農業に関するモチベーションが向上した。

### (3) 女性農業者グループの活性化

アグリウーマン塾の修了生も多数参画する「やまがた農業女子ネットワーク」は、独自の研修会等を企画運営する等、活発に活動を行っている。

#### 4. 農家等からの評価・コメント（受講生 南陽市 加藤ジャクリーン氏）

Iターンで南陽市に移り住み、就農に向けた準備を進める中、アグリウーマン塾のことを知った。異業種からの参入で、もっと農業経営を勉強したい、他の農業者とも交流したい、という思いもあり、受講を決めた。

塾では、講師の方からアドバイスをいただきながら、現状を見つめ直すことができ、今後の見通しをイメージできた他、経営面では、Iターンという自分の強みをマーケティングに活かせるのではないかと、といった気づきもあり勉強になった。また、同じ境遇の受講生もいて、一緒にインターンシップに参加するなど、楽しく交流することができ、充実した研修を送ることができた。

#### 5. 普及指導員のコメント

（置賜総合支庁農業技術普及課 専門普及指導員佐藤寛人）

アグリウーマン塾は、女性農業者が、今後の農業経営に向けた計画作成や経営管理の手法を学びながら、同じ志を持った仲間と交流できる貴重な場となっている。

講座中のグループワークでは、SWOT分析などの手法を用いながら、自身の強みや弱みなどを表出し、経営を見つめ直した。また、話し合いを通じ、互いの悩みや考え方を共有することで、「気持ち楽になった」、「刺激になった」という参加者の声も聞かれた。

今後の農業発展に向けて、女性農業者の活躍が期待されていることから、これからも塾生からの悩みや相談を聞きながら、各自の目標達成を後押しできるよう支援していく。

#### 6. 現状・今後の展開等

##### （1）若い女性限定の講座の開催を継続

アグリウーマン塾1～6期生のフォローアップ研修の実施に加え、「次世代リーダー育成セミナー」を継続し、女性農業者の経営改善、経営感覚をサポートしていく。同セミナーにおいては、Webを利用した研修も取り入れ、夫婦や家族等での受講も推進していく。

##### （3）女性農業者の働き方改革支援

引き続き、県内各地におけるネットワークづくりや女性農業者グループ等の活動支援を通じ、働きやすい環境づくりに取り組む女性農業者を支援する。